

美作地域を代表する大名庭園
 旧津山藩別邸庭園(衆楽園)

指定区分	国指定名勝
読みかた	きゅうつやまはんべつていていえん(しゅうらくえん)
所在地	津山市山北
指定年月日	平成14年9月20日
解説	津山藩主の森氏によって江戸時代初期に築庭された回遊式庭園。江戸時代中期以降は他藩からの客や家臣らとの対面所または隠居所として使用。島の配置や水面に映る島影の美しさ、四季折々の樹木の枝ぶりにも、洗練された美を感じることができる。建築以外には庭石や灯籠といった人工物は少なく、自然と一体化させているのが特色である。明治3年(1870)に「衆楽園」と命名された。
アクセス方法	JR津山駅から徒歩20分
公開状況	開園:4~10月:7~20時、11~3月:7~17時 / 入園無料
設備	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	南に1kmほど行ったところに国史跡津山城跡のある鶴山公園があります。

きつずページ

していくぶん (指定区分)	国指定名勝
ぶんかざいめい (文化財名)	旧津山藩別邸庭園(衆樂園)
よみかた	きゅうつやまはんべつていていえん(しゅうらくえん)
しょざいち (所在地)	津山市山北
していつひ (指定した日)	平成14年9月20日
せつめい	江戸時代(えどじだい)のはじめごろに、津山藩(つやまはん)のお殿(との)さまであつた森氏によってつくられた庭園です。お殿さまが家臣(かしん)や他の藩の使者(ししゃ)と会う「御対面所」(ごたいめんしょ)として使われていました。池をめぐる道づたいに広々とした水面(みなも)の風景(ふうけい)を楽しむことができます。